

よぬだ ところどころ

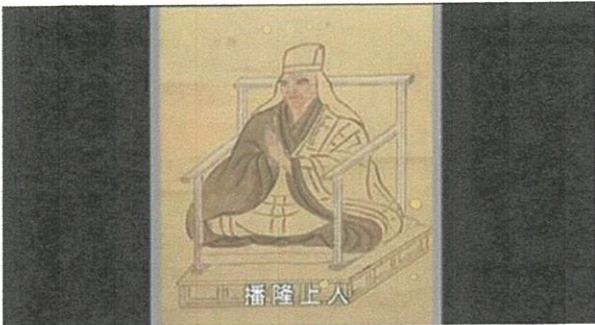


第五号

ヨナダーが下米田・牧野の色々な見どころを紹介するよ

播隆上人と下米田

写真は播隆上人座像



播隆上人は、江戸時代の僧侶で槍ヶ岳開山で著名な人である。上人は浄土宗に属し、「南無阿弥陀仏」の名号を唱え、各地を遊行した。槍ヶ岳登山に必要な鉄の鎖を架けることを発願し、美濃や尾張で資金を勧請するために各地で「念仏講」を開き、これに付随して「名号碑」が建立されている。この下米田でも「名号碑」がみられる。左写真は今地区の馬串山麓、上野池の側にある名号碑である。天保五年（一八三四）の建立であることが左側に刻印されていることから、播隆上人が五回目の登山をする前年につくられたものであることがわかる。



則光の公民館の横にも二基の名号碑があるが、これは宝暦二年（一七五二）と刻印されており、播隆上人の生まれが天明六年（一七八六）とすればこの名号碑は播隆上人とは直接かわりはないものであると考えられる。

美濃加茂地区は臨済宗妙心寺派の寺院が多いが、地元の人々には色々な宗派が浸透していたことがわかる。